

こどものはったつ相談室

子どもの健やかな発達や適切な教育方法の理解を深めるため、令和元年度、焼津市内に開設された

大井川中学校通級指導教室「はんの木」^{きたざわひろえ}北澤広恵先生によるコラムを掲載します。



問合せ先 こども相談センター

TEL 6 2 6 - 1 1 6 5 FAX 6 2 6 - 2 1 8 7

第1回テーマ「思春期の子どもへの関わり方～子どもを知ろう～」

こんにちは。北澤広恵です。私は、小学校での通常学級・特別支援学級担任・ことばの教室担当、中学校での特別支援学級担任を経て、現職に就いています。

■中学校通級指導教室とは？

学校教育法に基づき、中学校の通常学級に在籍する学習障害や、対人関係・感情や行動のコントロールに障害がある児童・生徒に対して、通常の学級に在籍しながら、障害を改善・克服するための特別な指導を部分的・継続的に行うために設置されています。

『はんの木』には、現在市内の各中学校から28名の生徒が通ってきています。生徒の特性や思いを大切にしたい対1の個別指導を行っています。在籍校や家庭との情報共有を大事にし、生徒や保護者の方々が「はんの木は、安心して安全な場所」と感じられる教室運営を心がけています。



■子どもを知ろう

思春期になると、こちらが声をかけた時によくある返事が「めんどくさい」「わかんない」「どうでもいい」などです。腹が立ちますよね。その時、「はっ？誰に向かって言ってるの？」「ちゃんと言いなさいよ！」と言いつつ返したりしていませんか。それはお子さんとの関係性を壊す言葉です。腹が立ちますが、「その言葉の裏側にあるものは何だろうか？」と捉え、ひと呼吸置いてからお子さんの発した言葉をそのまま繰り返してみましよう。

例えば「めんどくさいんだね。」です。そして、少し待ってみましよう（10秒は我慢してください）。子どもが何かつぶやくかもしれません。何も言わないからと言って、次々に言葉を発するのはNGです。子どもが言おうとするタイミングを奪ってしまいます。「今〇〇しようと思ったのに。やっぱ、やめた。」なんてことに…。

子どもの発した言葉を繰り返す中で「あっ、この言葉に反応した！」「これは逆効果だな。」と気が付き始め、子どもの気持ちに近づいていく関わり方が身についてきます。これは、親子関係だけでなく、大人の世界でも役立ちますよ。